

国際名誉員ハインツ・バッハ元シュツットガルト 大学教授の追憶

田中 辰明 お茶の水女子大学名誉教授 名誉会員

本学会は1984年に“日本・西ドイツ暖房会議”を開催した。そのときに西ドイツ側代表として来日したのがハインツ・バッハ教授である。日本側の代表は井上宇市元本学会会長であった。それ以来結成された“暖房研究会”に出席のため、しばしば来日された。

1973年秋の石油危機以来、ドイツは断熱の条例を強化した。従来のドイツの温水暖房の設計法では、送水温度90℃、返水温度70℃で室温を20℃に保ち、それにあう能力を持つ放熱器を設置するという方法がとられていた。しかし建物の断熱が強化されたため、従来の方法で設置された放熱器では放熱能力が過大になるという問題があった。

そこで、バッハ氏は送水温度を70℃、返水温度を50℃、場合によってはさらにそれより低い温度で暖房を行う“低温式暖房”を提案し、それを実施した。

この暖房方法が省エネルギーに寄与するとした。日本各地で、幾度も開催された暖房研究会でも熱っぽく低温式暖房を披露してくださった。バッハ氏の豪傑な面と気さくさが多くの設備実務者を魅了した。バッハ氏はそのような功績で2002年5月13日に開催された本学会第76回通常総



会で国際名誉員に推挙された。

しかし残念ながら最近病を得、2020年4月2日シュツットガルトで永遠不帰の旅立ちをされた。享年87歳であった。写真は2014年12月にバッハ氏の80歳の誕生日を祝う講演会でのお姿である。長い間、日本の暖房技術の向上にお心配りをいただいたバッハ氏のご冥福を祈る。

(2020/4/6 原稿受理)

SHASE-S 012-2013 建築設備用あと施工アンカー

〈主要目次〉 適用範囲／用語及び定義／記号及び略号／種類／要求事項
試験方法／検査／付属書 A(規定)／付属書 B(規定)／付属書 C(規定)
解説

- ・平成26年5月30日発行 A4判 46頁
- ・価格 2,407円+税 会員価格 2,167円+税

当学会ホームページ (<http://www.shasej.org/>) にて、PDFファイルのダウンロード販売を行っております。詳細は、ホームページ“発行図書案内”をご覧ください。